

# 探究インテリジェンスプログラム説明会

探究インテリジェンスセンター  
小田 真人





正しい情報にたどり着けない。

→正解探し・他人軸



情報を自分で解釈できない。

→探究・自分軸

世界のどこにも  
万人向けの「正しい情報」  
というものはありません。

情報にはつねに、  
なんらかの背景や意図や、  
限定された条件などがあります。

脱炭素

個人情報保護

生物多様性

人権デューデリジエンス

ライフサイクルアセスメント

拡大生産者責任

サーキュラーエコノミー

経済安全保障



SDGsやDXを  
「お勉強」してませんか？



まったく同じ情報に触れているのに優れた洞察ができる人がいます。

過去の経緯との結びつけ、  
次に起きうることの想像、  
別の事象と共通する要素の抽出。

いま必要なのは、

他人基準の正しい情報を探すことではなく、

自分の軸で探索し、情報を読み解く能力なのです。

探究  
探究

インテリジェンス

センター



# 【探究】

たん-きゅう [-キウ] [名] (スル)

物事の意義・本質などをさぐって見きわめようとする事。

その過程で現れる問題を解決しようとする自発的な思考過程のこと。

**= 本質を見極め、自ら課題を解決する思考過程。**

# 炭谷俊樹

代表・講師

マッキンゼーから教育界へ。  
探究型教育を30年近く実践。

先端的な探究学習の実践者としての長きに  
渡る功績を世界的に讃えられ、2022年  
Education 2.0 “Outstanding Leadership Award”  
受賞。

ラーンネット・グローバルスクール 代表  
神戸情報大学院大学 学長



# 【インテリジェンス】

【intelligence】 [英]

意思決定のために情報を分析して得られる知見。

情報のうち意思決定に利用可能な情報を得るための活動。

**= 意思決定のために情報から知見を得る活動。**



# 小田真人

センター長・講師

インテリジェンスを可視化するRuleWatcherを設計・開発。ユネスコから世界の倫理的AIプロジェクトとして日本で唯一選定。

世界初のソリューションは国連や政府などでも活用される。

株式会社オシンテック代表

神戸情報大学院大学 客員教授



国際動向を読み探究で、  
事業・企画を刷新する

次世代型オンラインアカデミー





# 探究インテリジェンス プログラム

## 「系統学習」

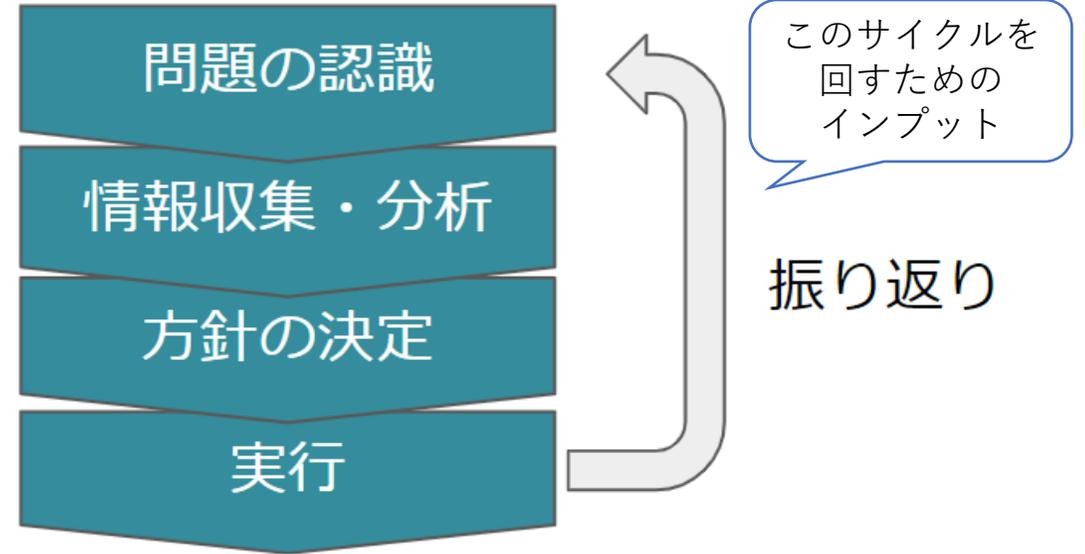
多くの学習者に効率よく学ばせるのに  
適した方法として、学校現場で主流だった

数学 学習系統表 (赤字…新規の内容、青字…学年間で移行した内容)

	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
数と式	<b>正の数・負の数</b> ●正負の数の必要性と意味(数の集合と四則) ●正負の数の四則計算  文字を用いた式 ●文字を用いることの必要性と意味 ●乗法と除法の表し方 ●一次式の加法と減法の計算 ●文字を用いた式に表すこと(不等式を用いた表現)	文字を用いた式の四則計算 ●整式の加減、単項式の乗除 ●文字を用いた式で表したり読み取ったりすること ●目的に応じた式変形	<b>平方根</b> ●平方根の必要性と意味(有理数・無理数) ●平方根を含む式の計算 ●平方根を用いること  式の展開と因数分解 ●単項式と多項式の乗法と除法の計算 ●簡単な式の展開と因数分解 ●文字を用いた式で数量をとらえ説明すること
	<b>一元一次方程式</b> ●方程式とその解の必要性と意味 ●等式の性質と一次方程式の解き方 ●一次方程式を活用すること(比例式)	<b>連立二元一次方程式</b> ●二元一次方程式とその解の必要性と意味 ●連立方程式とその解の意味 ●連立方程式を解くことと活用すること	<b>二次方程式</b> ●二次方程式とその解の必要性と意味 ●二次方程式を解くこと(因数分解、平方完成、解の公式) ●二次方程式を活用すること
図形	<b>平面図形</b> ●基本的な作図の方法とその活用 ●図形の移動(平行移動・対称移動・回転移動)	<b>平面図形と平行線の性質</b> ●平行線と角の性質 ●多角形の角の性質  <b>図形の合同</b> ●平面図形の合同と三角形の合同条件 ●証明の必要性と意味、方法 ●三角形や平行四辺形の基本的な性質	<b>図形の相似</b> ●平面図形の相似と三角形の相似条件 ●図形の基本的な性質 ●平行線と線分の比 ●相似な図形の相似比と面積比、体積比 ●相似な図形の性質を活用すること  <b>円周角と中心角</b> ●円周角と中心角の関係(証明、活用) ●円周角の定理の逆  <b>三平方の定理</b> ●三平方の定理とその証明 ●三平方の定理を活用すること
	<b>空間図形</b> ●直線や平面の位置関係 ●空間図形の構成と平面上の表現(見取図、展開図、投影図) ●おうぎ形の弧の長さや面積、柱体・錐体・球の表面積と体積		
関数	<b>比例、反比例</b> ●比例の意味 ●比例、反比例の意味 ●座標の意味 ●比例、反比例の表・式・グラフ ●比例、反比例を用いること	<b>一次関数</b> ●線形と一次関数 ●一次関数の表・式、グラフ ●二元一次方程式と関数 ●一次関数を用いること	<b>関数 <math>y = ax^2</math></b> ●等象と関数 $y = ax^2$ ●関数 $y = ax^2$ の特徴 ●関数 $y = ax^2$ を用いること ●いろいろな等象と関数
資料の活用	<b>資料のちらばりと代表値</b> ●ヒストグラムや代表値を用いることの必要性と意味 ●ヒストグラムや代表値を用いること ●誤差や近似値 $a \times 10^n$ の表現	<b>確率</b> ●確率の必要性と意味、確率の求め方 ●確率を求めること	<b>標本調査</b> ●標本調査の必要性と意味 ●標本調査で母集団の傾向をとらえ説明すること

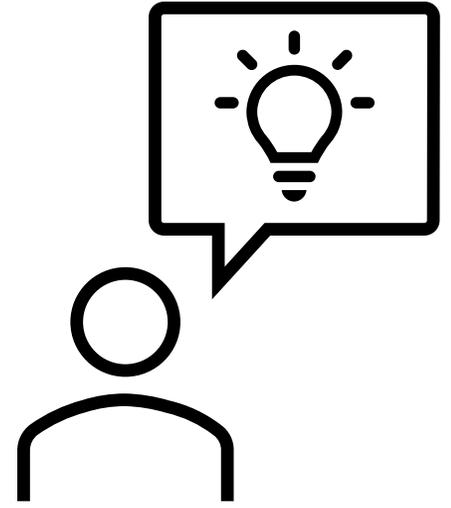
## 「問題解決学習」

問題発見と問題解決能力が重要視され、より  
主体的な、自分で問いを立てる学び方

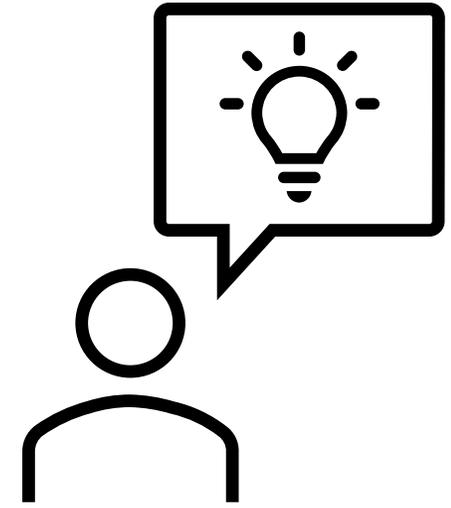


既に構想・着手している事業/企画を持ち込んだり、  
まだ漠然とした問題意識を発端に、企画につなげることを行います。

**自分のやりたい→社会のありたい**  
あなたの事業を社会課題からデザインする



**自分のやりたい→社会のありたい**  
あなたの事業を社会課題からデザインする



**国際動向**  
**インテリジェンス**



# RuleWatcherを使って国際情報の読み解きを強化



ルールトレンドアラート



トレンドワード



関係性グラフ探索



統計ダッシュボード

# RuleWatcherを使って国際情報の読み解きを強化



United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

International Research Centre on Artificial Intelligence under the auspices of UNESCO

## GLOBAL TOP 100

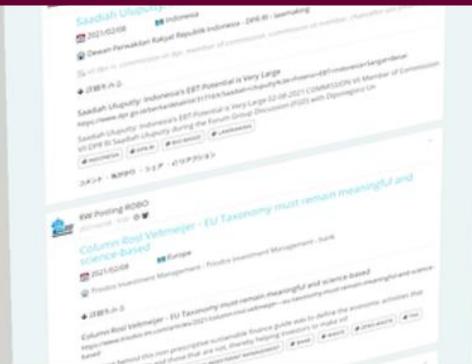
## GLOBAL TOP 100



トレンドワード



関係性グラフ探索



ルールトレンドアラート



統計ダッシュボード

# 11～15：国際動向インテリジェンス（全5回）

## 情報の点をつなぎ、線に面に立体にしていく

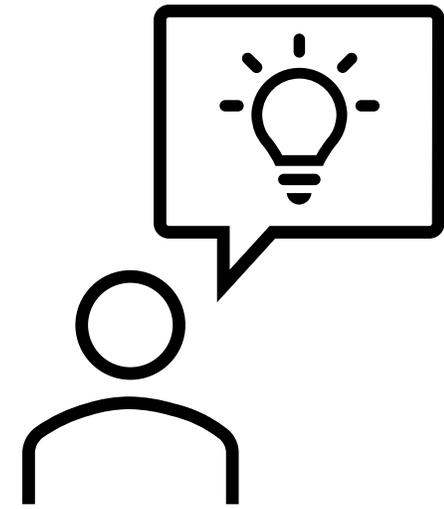
- 世界の大学院で注目の集まりつつある領域
- 先端ICTを活用
- グローバルな環境・社会課題を題材に情報の流れを読む



## 国際動向 インテリジェンス

1. グローバル 이슈と地政学：環境や社会の国境を越える問題について学びます。
2. 国際合意と国連・NGO：近年実力を増す、越境プレイヤーのルールメイキングについて学びます。
3. インテリジェンスと情報リテラシー：情報の背後、因果関係、状況の特性の見方などの分析を学びます。
4. 金融パラダイムの変容：世界のルールの別軸を構成する金融パラダイムを題材に将来を読み解きます。
5. インテリジェンス実践：RuleWatcherによるワークを行います。

**自分のやりたい→社会のありたい**  
あなたの事業を社会課題からデザインする



**国際動向  
インテリジェンス**

**戦略的合意形成**

# ステークホルダーとの、**合意形成を学ぶ** ことで、実効力を上げる

- 問題の構造理解と戦略
- クリティカルリーディング
- 議論のテクニック
- 集団で答えを作る訓練

# G1～G5：戦略的合意形成（全5回）

## ステークホルダーを巻き込んだ「答えを作り上げる能力」を手に入れる

- 価値観が複雑化する時代に求められる
- 長期的関係性で「答えを共につくる」あり方
- メタ認知による、国際合意の読み解きにも

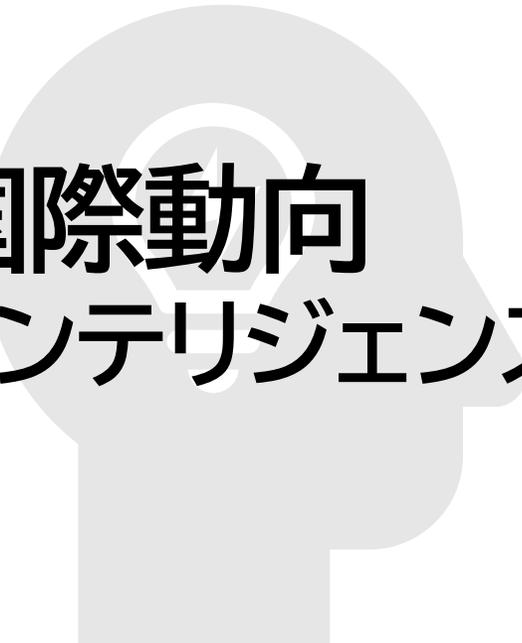


## 戦略的合意形成

1. 合意形成の基礎：重要度の高まりなどの背景と、合意形成の効果を理解します。
2. 構造の理解：状況に応じた合意形成の種類、合意の形態による「決め方」を理解します。
3. 議論の技術：場を破綻させずに合意に導く手法を学びます。
4. 交渉パターン：利害対立する相手の戦術を理解します。
5. 合意形成の実践：ロールプレイによるワークを行います。

**自分のやりたい→社会のありたい**  
あなたの事業を社会課題からデザインする

**国際動向  
インテリジェンス**



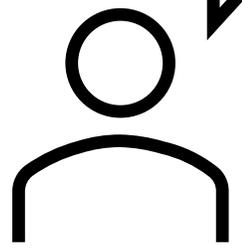
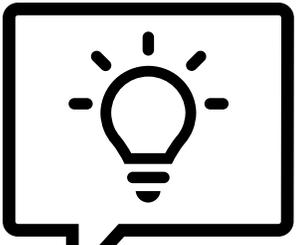
**戦略的合意形成**



**探究実践**



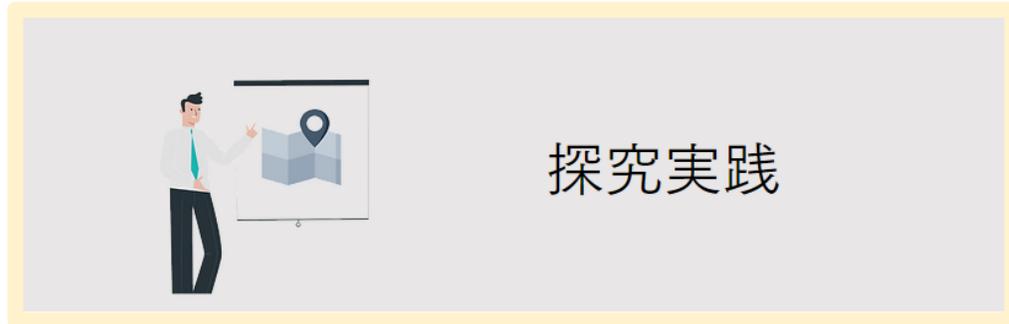
探究メソッド®



# T1～T5：探究実践（全5回）

## 内発的動機をもとに企画し、実現に結びつける

- 本センターのコアである「探究」を具体的な「技法」として習得
- 個人の、あるいは大きな範囲のゴールから課題を見つける
- ステークホルダーを巻き込める発表を行う



1. 探究と探究チャート：探究の基礎とフレームワークを理解します。
2. アイデア+ヒアリング：実際の関係者からの仮説のヒアリングの重要性と、そのポイントを押さえます。
3. ヒアリング深堀・収支：ヒアリングを繰り返し、仮説をビジネス計画に仕立てていきます。収支計画も語れるように準備します。
4. 個別アセスメント：プレゼン内容について個別にアセスメントを行います。
5. プレゼン会：ステークホルダーを巻き込める内容に企画をブラッシュアップし、発表を行います。

# カリキュラムの流れ

- 社会人に無理のない、オンラインによる受講形態
  - 動画教材（必修10本）→専用サイトに投稿→フィードバック
  - Zoom集合で、ハンズオン・ディスカッション・ワークを（全7回：土曜午前）
  - 関心領域の近い受講生同士は、グループワークで探究実践。（単独も可）



# スケジュール（7月開講分の例）



2022下期		集合対話	個別対話	動画+課題	Tankyu	Intelligence	合意形成	内容
7/2	集合	●			T1			T1: 探究について / 探究チャートと自己紹介
7/9	e-learning			●		I1		I1: グローバリゼーションと地政学
7/16	e-learning			●		I2		I2: 国際合意と国連・NGO
7/23	e-learning			●		I3		I3: インテリジェンスと情報リテラシー
7/30	e-learning			●		I4		I4: 金融のパラダイム変容（トレーダーパラダイムからサステナブルパラダイムへ）
8/6	集合	●				I5		I5: 実践）いまの国際動向を読み解いてみよう
8/13	お盆							
8/20	集合	●			T2			T2: アイデア+ヒアリング（グループワーク開始）
8/27	e-learning			●			G1	G1: 合意形成の基礎
9/3	e-learning			●			G2	G2: 構造の理解
9/10	e-learning			●			G3	G3: 議論の技術
9/17	e-learning			●			G4	G4: 交渉パターン
9/24	集合	●					G5	G5: 合意形成の実践（WS中心の講座）
10/1	休み							
10/8	集合	●			T3			T3: ヒアリング深堀+収支
10/15	休み							
10/22	休み							
10/29	個別		●		T4			T4: 個別アセスメント
11/5	休み							
11/12	休み							
11/19	集合	●			T5			T5: プレゼン会

# 受講者像

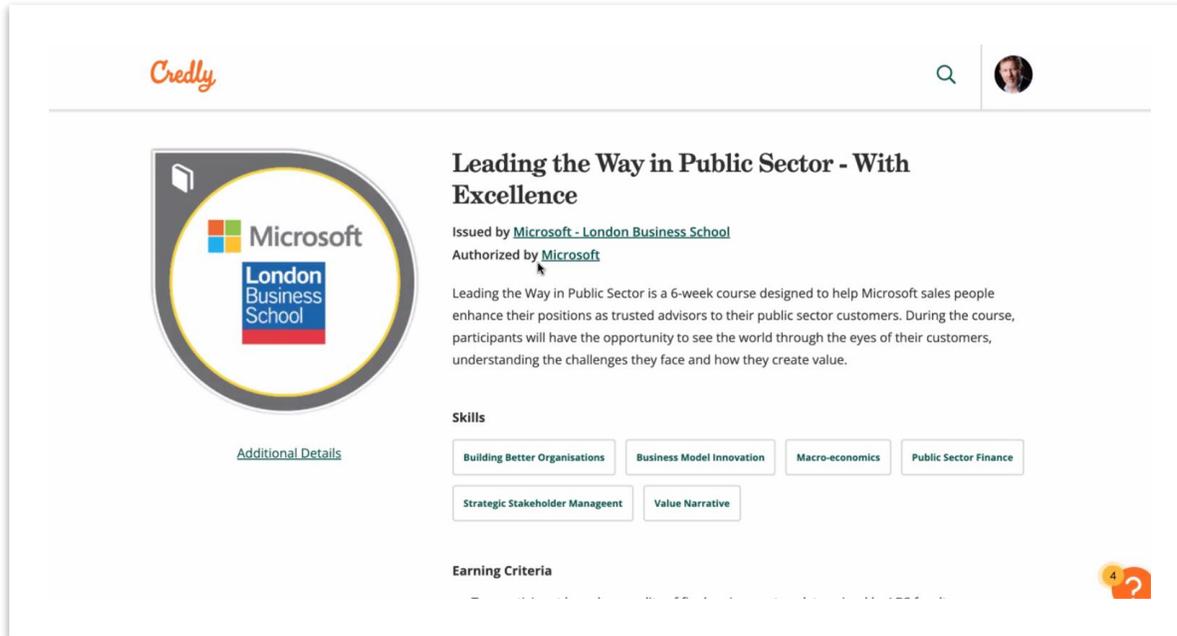
未来を自ら創出することや社会にインパクトを与えることへの意欲があること。

- ビジネスパーソン
  - 経営 / 企画 : 経営や企画の部署の方・キャリアを経営企画方面に振り向けていきたい方
  - 国際 / 渉外 : 世界の状況を理解し、データに基づき主張する事で、会社～社会に貢献できるようになりたい方
  - サステナブル推進 / ESG / CSR / IR 担当者 : 組織の方向性をサステナブルに導きたい方
- コンサルタント : 視野の広い情報源に基づく戦略的思考と、その情報源をICTを使って
  - 探索する方法を身に着けたい方
- 政策立案者・行政官
  - 視野を広く持ち、説得力を持った政策提案を行いたい方 住民合意等のポイントを押さえたい方
- 社会課題解決に関心のある個人
  - 世界を読み解けるようになり、ハンズオン型で特定の社会課題解決へのアプローチをされたい方

# 受講者が修了時に得られるもの

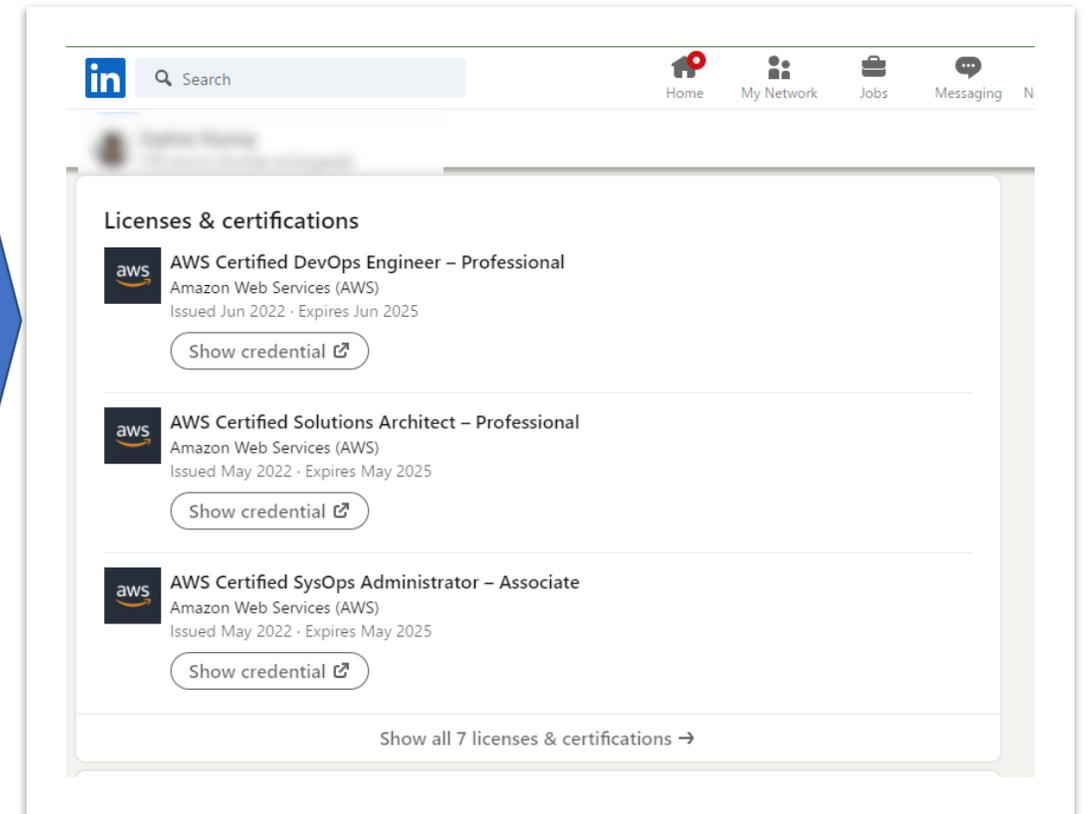
- Official Certificate (修了証) の提供 (準備中)

Linked-In や その他 SNS 等で学習歴を表示



例： ロンドンビジネススクールが提供している

Microsoft系のコース修了証明

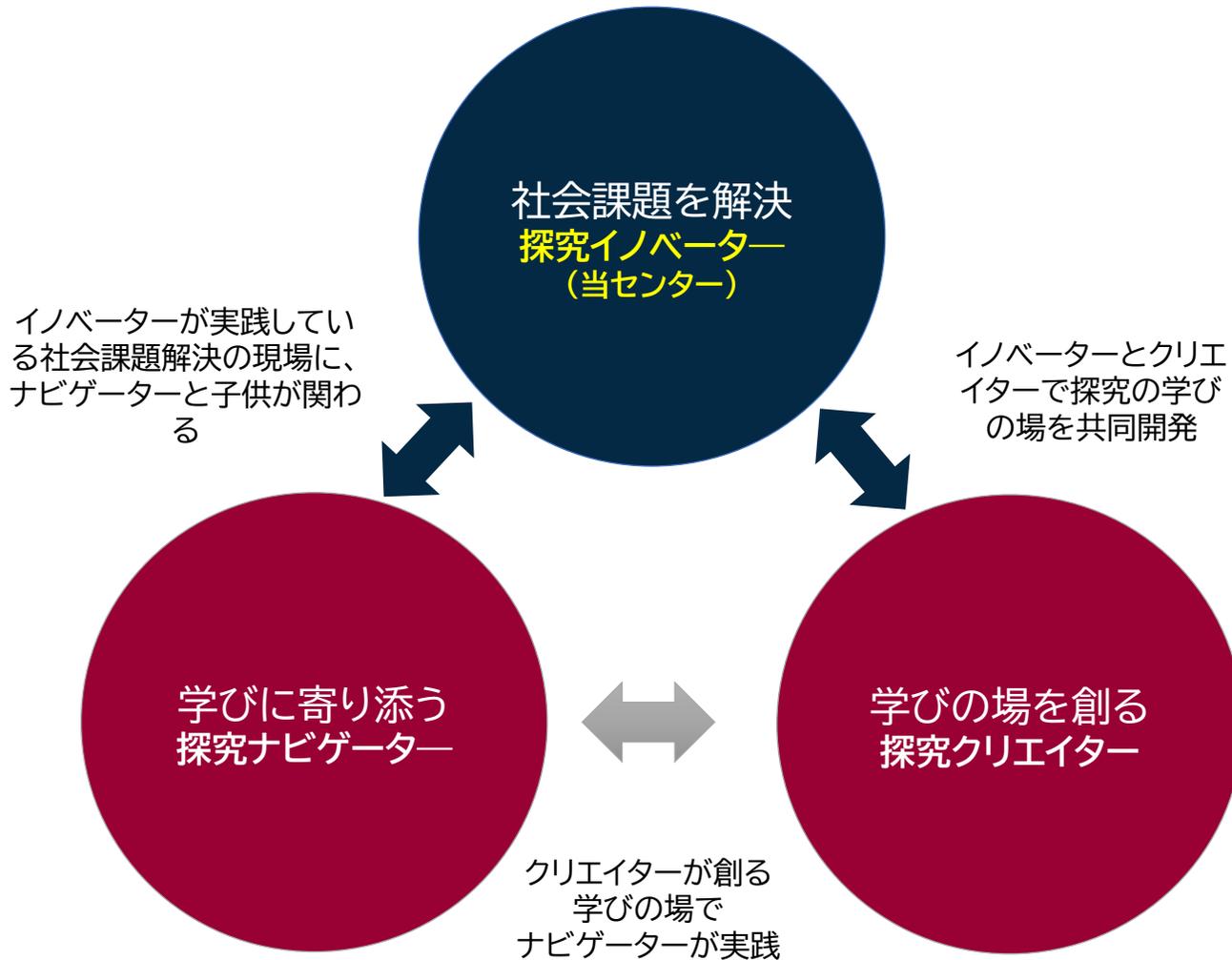


## 修了後の活躍の場

1. 定期勉強会
2. 出版などのプロジェクト
3. 修了生ネットワーク
4. 客員研究員としての在籍
5. 探究でつながる、他のグループとの連携  
(次ページ)



# あなたの探究が広がる場 ～「探究」で繋がる、他のグループとの連携～



修了生には、**越境人材**としての活躍を期待しています。

## 例：教育界からの講演依頼

- 圧倒的に不足する探究教育人材として
- 社会・環境課題解決の実例を講演

# アドバイザー、フェローの皆様

## アドバイザー



鈴木崇弘  
政策/シンクタンク  
城西国際大学大学院教授

福岡賢二  
テクノロジー/国際支援  
学校法人コンピュータ総合学園常務理事

内藤智之  
ICT for SDGs  
神戸情報大学院大学副学長

- アドバイザー：組織運営全般にアドバイスをくださる方。
- フェロー：専門性をお持ちの分野で、受講生等へのご助言をくださる方。

< 順次お声がけさせていただいています >

## フェロー



田中有美子  
国際支援/経営  
株式会社アクトオン  
代表取締役

伊藤憲祐  
医療  
医学博士

田村大  
イノベーション/デザイン  
株式会社リ・パブリック  
共同代表

横田幸信  
イノベーション教育  
i.lab  
マネージング・ディレクター



本下真次  
先端マネジメント  
株式会社コトバノミカタ  
共同創業者・取締役

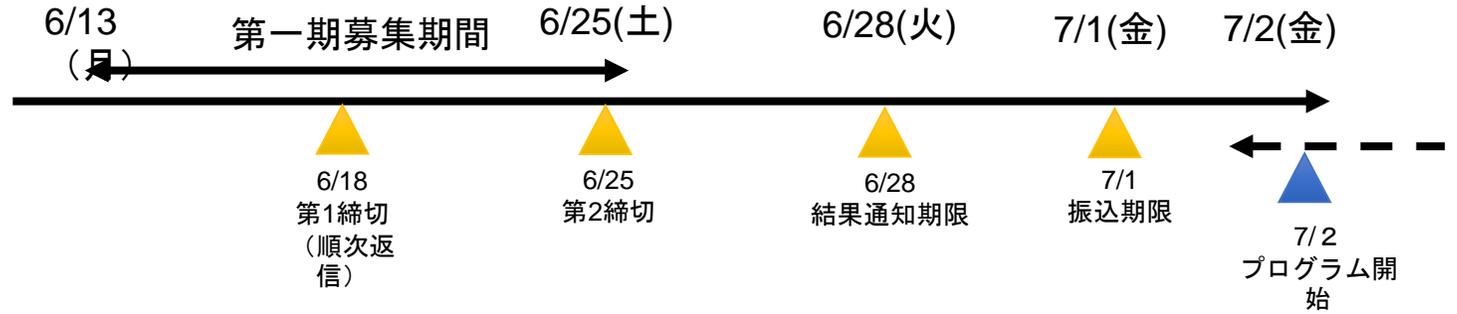
延原恒平  
エフェクチュエーション  
キャリアコンサルタント

稲増美佳子  
経営学/人権  
OneDropOcean財団  
理事

長井延裕  
戦略/メディア  
（社）コンサートプロモーターズ  
常務理事



# 受講方法 諸手続き：費用（7月開講分の例）



## • 第一期

- 2022年7月～11月（7/2 開講）
- 165,000円（税込） 銀行振込

## • 手続き

- 公式サイトよりフォーム提出。
  - 炭谷代表の5分の探究に関する動画を視聴し、テーマエッセイ（1000文字程度～）を提出して下さい。
  - 第一締切：6/18（土） 第二締切：6/25（土）
- 受付次第、順次、6/28（火）迄に返信いたします。
  - ご受講いただける場合、銀行振込先などの情報を記載したメールをお送りします。
  - ご受講いただけない場合も、必ずご連絡を差し上げます。

# 6か月後

インテリジェンス  
を身につけ、新しい軸で  
事業を創れる自分に



6月18日(土)第一次締切

6月25日(土)最終締切





# 探究インテリジェンス センター